



有馬温泉に初めて乗り入れた鉄道！

# 有馬〈軽便〉鉄道廃線敷を訪ねるコース

**コース** 二郎駅～二郎（廃線敷）～西宮IC～公智神社（有馬口駅跡）～有馬川沿い（有馬駅跡）～有馬温泉駅（約9キロ・一般向）

**歩行時間** 約2時間30分

有馬軽便鉄道の痕跡を訪ね、神戸電鉄の二郎駅から有馬温泉駅まで歩きました。

三田・有馬温泉間に、大正4年（1915年）に開設された有馬軽便鉄道は、軌間が狭く、小型の機関車・車両を使用する鉄道で、開通と同時に鉄道院が買い上げ国有鉄道となりました。多くの湯治に来られる型に利用されましたが、昭和18年（1943年）に廃線となり、今はレールも枕木も残っていませんが、所々に有馬軽便鉄道の痕跡を見つけることができます。

神鉄二郎駅の改札を出て直進し、県道15号線に合流したら右へ折れ歩道を歩きます。約15分ほど行くと左手にケアハウス ストロベリーの建物。その少し先で左に折れ細い農道を行くと前方に、有馬軽便鉄道の線路跡として左右に伸びた高さ約4mほどの盛土①が見え、小さなトンネルを潜り細い道を進むと西宮市山口町名来に抜けます。住宅地を右に折れ、橋を渡り右へ約10分ほど歩き、中国自動車道の高架を潜り左へ折れ川沿いの道を進みます。

次に中国自動車道、西宮北インターに続く県道82号線の高架を潜る約5分ほど行くと右手に公智神社②があります。神社前の車道が線路跡で、北側約50m程に「有馬口駅」がありました。今も神社北側すぐの交差点脇に「駅前橋」があり、当時のなごりを残しています。

公智神社の秋祭りは、7基のダンジリによる宮入は勇壮で、大勢の見物される型で賑わいます。境内にある旧神輿殿は室町時代のもので、市指定文化財となっています。公智神社から山口消防分署前までが線路跡で、信号を横断し有馬川を渡って南に向かい有馬川緑道③を歩きます。

有馬川緑同派有馬軽便鉄道の線路跡の一部にあたる有馬川右岸（東側）の明治橋から十天堂橋までの間を緑地として整備されました。春は桜、夏にはホタルが飛び交う遊歩道です。約20分ほど行くと上山口大橋から左にとり、少し進むと右側の道路下にトンネルがあります。それを抜けて再び有馬川沿いの舗装路を歩きます。この付近から線路跡は東の山裾を通り、有馬温泉まで伸びています。やがて、阪神高速北神戸線の高架を潜ると、前方に「湯の町有馬」のホテルが見えてきます。荒内橋を渡り、公会堂前を抜けて、次の角を右に向くと有馬温泉へと続く車道。一部、歩道が無いので、車には十分気を付けてください。約10



分歩くと点滅信号があります。左側の橋を渡ると正面に先山クリニックがあり、この場所が「有馬駅跡」です。橋には、当時の写真が貼付けてあり、当時は偲ばれます。ここから有馬川左岸の歩道を進むと、神鉄有馬温泉駅に到着します。